

1. よりよい関係

① お父さん（お母さん）にグチってみてね

《ねらい》

○子どもの抱えそうなトラブルに対して、子どもの心に寄り添う言葉かけを考える。

《準備物》

○主催者（学校等）：ワークシート、模造紙 1/2（またはA3用紙4枚）×グループ数、付せん

○参加者：筆記用具

	時間 (60分)	主な活動	発言	留意点	
導入	10	1. 学習のねらい			
		<p>子どもは、心身ともに成長しています。目に見える体の成長や変化はわかりやすいものですが、目に見えない心の成長や変化は、気付きにくいものです。乱暴な物言いや無口でイライラしているわが子に親は戸惑います。子どもの心に寄り添う言葉かけで安心できる関係が保てるよう考えてみましょう。その前に、心と体を少しリラックスさせましょう。</p>			
		2. アイスブレイク ・思い出自己紹介	中学時代に「好きだった歌手」や「熱中したこと」を加えて自己紹介しましょう。 アイスブレイク編 P12 参照	・同世代の思い出に共感し思春期の頃を振り返る。	
		3. ルールとマナーの確認			
展開	5	4. 心配事を付せんに記入する。 (ワーク1)	4. ワーク2の例を参考にして、子どもの変化を付せんに書きましょう。	・一枚の付せんに一項目ずつ記入する。	
	20	5. 4つの場面に分けて、付せんに配置する。 (ワーク2)	5. 付せんに書いた「心配事」を紹介しながら、模造紙に貼っていきましょう。	・作業の進行を見ながら声かけをする。	
	10	6. 心配事に対してどんな言葉かけるかグループで考える。 (ワーク3)	6. 子どもの心配事を引き出す声のかけ方について考えてみましょう。	・場面ごとにグループを指定して、子どもの心に寄り添う言葉を考える。	
まとめ	15	7. グループごとに発表する。	7. グループでどのような意見が出ましたか。出た意見を発表しましょう。		
		8. まとめ	<p>思春期は自立のための親離れをする時期。無口になったり、反抗的になったりしても、ひとまず不安は胸の内にしまっておいて、子どもの何気ない言葉をしっかり聞きましょう。親との距離が生まれる時期だけに、家庭に「心の居場所」が必要になります。口出し・手出しを控え、子どもの様子を見守りましょう。 ただし、子どもが間違った方向に進みそうな場合は軌道修正のアドバイスが必要です。</p>		

お父さん（お母さん）にグチってみてね

心が揺れ動きやすいこの時期こそ、親子がいつでも語り合える関係があれば、子どもの抱えそうなトラブルも、早め、早めに乗り越えられます。子どもの心の成長や変化で不安に思う事や心配していることを出し合い、子どもの心に寄り添う言葉かけを考えてみましょう。



ワーク1

学習面・身体面・生活面・人間関係についての子どもの心配事を付せんに記入しましょう。

ワーク2

模造紙を学習面・身体面・生活面・人間関係の4つに区切り、子どもの心配事を記入した付せんを紹介しながら貼っていきましょう。

学習面（英語、教科担任制、定期テスト、順位等）

- 例）・「〇〇先生に聞きづらい」って言う。
・成績は中ぐらいと思っていたのに・・・

身体面（成長、食事、無気力、いらだち等）

- 例）・やせたい、と小食になった。
・「ムカつく」が口ぐせ。

生活面（生活リズム、校則、部活動、塾等）

- 例）・朝練をすると、授業中眠くなる。
・みんなが塾に行くらしい。

人間関係（友達、先輩・後輩、教師、コーチ等）

- 例）・違う小学校の子はちょっとこわい。
・先輩とすれ違う時、あいさつするように言われる。

ワーク3

心配事を抱えているように見えるわが子にどんな言葉をかけますか。最初の声かけをグループで考えてみましょう。



《 参考になった声のかけ方はありましたか。 》
《 あればメモして持ち帰りましょう。 》